

1. 研究課題名

「Intracholecystic papillary neoplasm の臨床生理学的/病理学的検討－日本肝胆膵外科学会プロジェクト研究－」

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、日本肝胆膵外科学会主導による多施設共同研究です。胆嚢腫瘍の1つである、Intracholecystic papillary neoplasm (以下 ICPN) は胆嚢の前癌病変とされていますが、その詳細は分かっておりません。全国の多くの医療機関で治療された ICPN の患者さんのデータを収集および解析することにより、ICPN の特徴を明らかにすることを目的としています。

研究期間は承認日から 2027 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2008 年 1 月から 2023 年 12 月の間に、ICPN の診断で手術を受けられた方の診療記録や病理検体を利用して行います。利用する情報は、術前検査結果、手術情報、術後経過などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究（研究代表者：鈴木修司 所属：東京医科大学茨城医療センター消化器外科）であり、当センター（院長 中島淳）は東京医科大学茨城医療センター（研究代表者：鈴木修司）に、診療記録から得られた情報や病理標本を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 肝胆膵・移植外科 橋本拓哉（研究責任者）

研究代表者：鈴木修司（所属：東京医科大学茨城医療センター消化器外科）および本共同研究に参加している、日本肝胆膵外科学会所属の医療機関の医師

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604

担当：肝胆膵・移植外科 橋本拓哉